別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		福津市地域交通体系協議会
開催日時		令和7年1月29日（水）14時30分～16時30分
開催場所		福津市役所 別館1階大ホール
委員名		<p>（1）出席委員 古賀秀策（辻美貴善・山浦淳輝）、江口正男、吉住信哉（田主学）、塩川浩一、紺屋良治、高瀬徹二（平川正和）、山口尚志、蒲生守、高橋祥之、香月肇光、鈴木裕介、中村一枝、（百田幸子）、長野健二、青谷哲也</p> <p>（2）欠席委員 富松享一</p>
所管課職員職氏名		<p>（都市整備部都市計画課） 都市計画課長：安永紳一郎 都市政策係長：津山哲夫 都市政策係：福原雄貴、三船浩史</p>
会 議	議 題 (内 容)	<p>○審議事項 路線バス廃止の申し出に係る協議結果について（報告）（案）</p> <p>○報告事項 ふくつミニバスの路線変更について 乗合タクシーについて</p> <p>○その他</p>
	公開・非公開 の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	2名
	資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回福津市地域交通体系協議会 次第 ・路線バス廃止の申し出に係る協議結果について（報告）（案） ・ふくつミニバスの路線変更について ・乗合タクシーについて
会議録の作成方針		☐ 録音テープを使用した全文記録 ☒ 録音テープを使用した要点記録 ☐ 要点記録 記録内容の確認方法
その他の必要事項		

審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

○会長あいさつ

鈴木会長による挨拶。会議録の確認・署名委員の指名（江口委員、蒲生委員）。協議会成立宣言（16名中15名出席）。会議公開の了承（傍聴2名）。オブザーバー（福岡県交通政策課右近氏）。

○福津市地域交通体系協議会の開催

○審議事項

- ・次第2. 路線バス廃止の申し出に係る協議結果について(報告)

<事務局より説明>

< 質 疑 >

蒲生委員 1-2 路線を維持するということが、減便なく維持されるのか。

事務局 法改正に伴う乗務員の運転時間の制限により、多少の減便はある。

蒲生委員 夏場の利用増に対して期間限定でバスの増便はできないか。

事務局 協議によって臨時バスなどの運行が考えられるが、現状の乗客数及び、乗務員不足の状況では実現が難しい。

会 長 減便・廃止については、市民に対してどの程度周知しているか。

事務局 関係する郷づくりの役員会にて説明した、住民に対しては回覧を実施。その後、住民説明会(12月9日～21日)を実施。

会 長 今回の維持路線(1-2)は利用件数の目標値が設定される。目標値を超えなければ存続できないとも言える。住民が危機感を持って、バス路線を守ろうという意識と、そのための積極的な情報公開を要する。

長野委員 「津屋崎～鐘崎線」廃止状況として、宗像市の動向はいかがか。

江口委員 宗像市は自分たちの路線は自分たちで守るという意識がある。

<採決>

全会一致で可決。

○報告事項

- ・次第3. ふくつミニバスについて

- ・次第4. 乗合タクシーについて

<事務局より説明>

<質疑>

山口委員 乗合タクシーについて、他路線と被ったりしていないか。

事務局 ふくつミニバスでカバーできない通勤・通学時間帯を運行するもの。日中はふくつミニバスをご利用いただく。

山口委員 夕陽館が再開するがバス停を廃止するのか。

事務局 夕陽館の動向は把握している。現時点では廃止とする。

蒲生委員 通勤者には、回数券ではなく定期券を導入しないのか。

事務局 事業者と協議をしている。現段階では手続き上の支障があるが、協議が整えば可能。

会 長 一般的な企業では通勤者に対し、企業側が月額の通勤手当を支給する。乗合タクシーを回数券にすると、単純に利用者に乗車2回分の利益が生

じないか。また通勤手当は企業が負担するものであるため、市が負担しなくても良いのでは。

事務局 引き続き調査および事業者との協議を行う。

○福津市地域交通体系協議会（法定協議会）開催
（福津市地域交通体系協議会（法定協議会）会議録参照）

○その他
（意見等なし。会議終了）

上記会議録は事務局が作成したものであるが、その内容が正確であることを証するため、ここに署名します。

令和 年 月 日

福津市地域交通体系協議会

委員 _____ 印

福津市地域交通体系協議会

委員 _____ 印